

UV PRINTER

UJF-3042HG

UJF-6042

日常のお手入れマニュアル

お願い

インクジェットプリンタは非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特に、インクを吐出するヘッドのノズル面はわずかなホコリや紙粉の付着でも、吐出に影響を及ぼし、正常な作図結果を得られなくなる可能性があります。インクジェットプリンタの精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的に、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

目次

安全にお使いいただくために	2
使用環境とお手入れについて	2
お手入れ上のご注意	2
外装のお手入れ	2
テーブルの清掃	3
1 日の作業が終了したら	4
ヘッドクリーニング	4
ノズル洗浄	5
定期的に行うお手入れ（1 週間に 2 回 /PR-200 搭載機種のみ）	8
ノズル洗浄	8
画質不良が解消されない場合は	12
作図不良の例	12
ワイパのクリーニング	13
ノズル吐出不良の回復方法	15
廃インクが溜まったら	16
廃インクタンクのインクを処分する	16
ワイパボトルのインクを処分する	18
作図中のインク滴のボタ落ちを防ぐ	20
保管方法について	22
不凍液・メンテナンス用洗浄液の保管	22
メディアの保管	22
インクカートリッジの保管	22

安全にお使いいただくために

使用環境とお手入れについて

- できるだけホコリの少ない環境で使用してください。扇風機、送風機なども周囲のホコリを舞い立たせる原因です。
- 紫外線硬化インク（UV インク）を使用するので、換気のよい場所に設置してご使用ください。
- 使用環境温度は +20 °C ~ +35 °C です。これより低温／高温でのご使用は避けてください。

お手入れ上のご注意



- 本機は、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。



- 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。



- お手入れは、主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。
- LED UV の温度が完全に下がってから、お手入れを行ってください。火傷をする危険性があります。



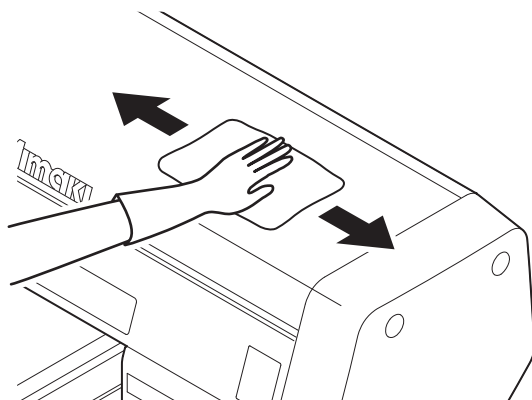
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタ内部が故障する恐れがあります。
- 紫外線硬化インク（UV インク）は、水やアルコールと混ざると凝集物が発生いたします。ノズル面はもちろん、ヘッド周辺やキャップ、吸引ノズルなどへは、水またはアルコールを付着させないようにご注意ください。



- 本機は紫外線硬化インク（UV インク）を使用するプリンタです。お手入れの際には必ず付属の保護メガネと手袋を装着して行ってください。

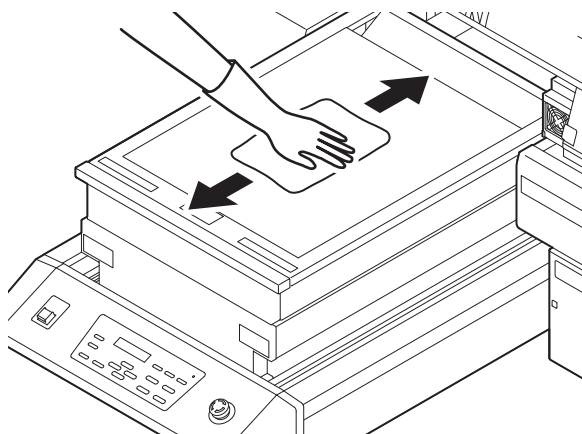
外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、軽くしぼってから拭き取ってください。



テーブルの清掃

テーブルは、メディアをカットしたときの糸や紙粉等で汚れやすくなります。汚れが目立つときは、やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。



重要!

- テーブル周囲の溝や、治具固定用のネジ穴などは特に汚れがたまりやすいため、入念に清掃をしてください。
- 本機の内部に液体が入らないようにしてください。本機の故障、感電、または火災のおそれがあります。



- インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。

1 日の作業が終了したら

ノズル詰まりを防止するため、1 日の作業の終わりに、ヘッドクリーニングとノズル洗浄を行ってください。

ヘッドクリーニング

1

ローカルモードで、**CLEANING** キーを押す

<ローカル>

2

ヘッドを選び、クリーニングする / しないを設定して、**ENTER** キーを押す

#クリーニング
ヘッド* [MCYK^C_LWW]

#クリーニング
ヘッド* [_ _ YK^C_LWW]

- (1) ◀▶ でヘッドを選ぶ
- (2) ▲▼ でクリーニングする（ヘッド番号を表示） / しない（“ - ”を表示）を選ぶ
 - 全てのヘッドに対して、クリーニングを実行するかを選択してください。

3

▲▼ を押して [ノーマル] を選び、**ENTER** キーを押す

#クリーニング
タイプ : ノーマル

4

ENTER キーを押す

- クリーニングを開始します。
- クリーニングが終了すると、ローカルモードになります。

ノズル洗浄



- 必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。

作業に必要なもの	• UJ 清掃棒 (SPC-0386) • 手袋	• 保護メガネ
	• F-200/LF-200 メンテナンス洗浄液 (SPC-0568)	

1

ローカルモードで、**FUNCTION** キーを押す

<ローカル>

2

▲▼を押して[メンテナンス]を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT>

3

▲▼を押して[ステーションメンテ]を選び、**ENTER** キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテ

<ent>

4

▲▼を押して[メンテ：ノズルセンジョウ]を選び、**ENTER** キーを押す

ステーション メンテ
メンテ : ノズル センジョウ

- キャリッジが中央へ移動し、Yバーが手前に移動します。

5

全ヘッドを「洗浄する」に設定し、**ENTER** キーを押す

ステーション メンテ
ヘッド* [1234]

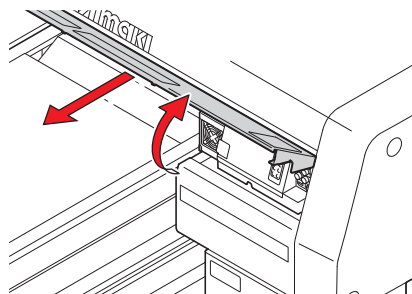
- (1) **◀▶**でヘッドを選ぶ
- (2) **▲▼**で洗浄する(ヘッド番号を表示) / しない(“ - ”を表示) を選ぶ

6

フロントカバーを取り外す

- (1) フロントカバーの両端を押します。
- (2) 上に開きながら、カバーを手前に外します。

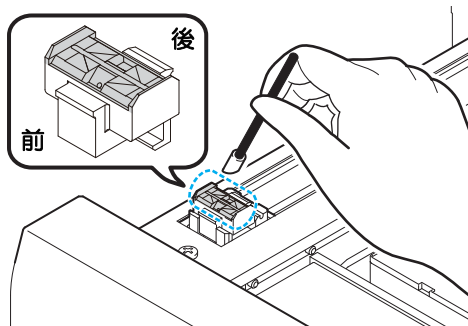
- ワイパが手前に移動します。



7

清掃棒にメンテナンス洗淨液を付けて、ワイパーノズルの汚れを拭き取る

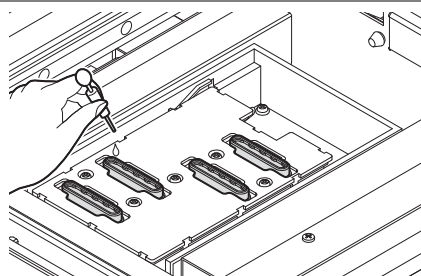
- 図の部分の拭いてください。



8

スポットでメンテナンス洗淨液を取り、キャップいっぱいになるまで垂らす

- 3 箇所のキャップすべてに洗淨液を入れてください。



9

フロントカバーを取り付けて
ENTER キーを押す

ワイパ° クリーニング°
シュウリョウ : ent

- キャッピングを行い、スライダが奥の待機位置に戻ります。

10

▲▼を押して放置する時間を
設定し、**ENTER** キーを押す

ステーション メンテ
ホウチ ジ° カン : 1min

- 通常は 10min を設定します。
(設定値 : 1 ~ 99min)
- 放置時間終了後、クリーニングが行われます。

クリーニング°

***-----



- 放置時間は、使用頻度やノズルの汚れに合わせて調整してください。

11

END キーを押して終了する

定期的に行うお手入れ（1週間に2回 /PR-200 搭載機種のみ）

PR-200 を搭載している機種はノズル詰まりが発生することがあります。
週2回（月・金）、PR-200 専用のメンテナンス洗浄液を使ってノズルを洗浄してください。

ノズル洗浄



- 必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。

作業に必要なもの	• UJ 清掃棒（SPC-0386）	• 手袋	• 保護メガネ
	• F-200 / LF-200 メンテナンス洗浄液（SPC-0568）、PR-200 メンテナンス洗浄液（C-ML013-Z-B2-1-KW）		

1

ローカルモードで、**FUNCTION** キーを押す

<ローカル>

2

▲▼を押して[メンテナンス]を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT>

3

▲▼を押して[ステーションメンテ]を選び、**ENTER** キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテ

<ent>

4

▲▼を押して[メンテ：ノズルセンジョウ]を選び、**ENTER** キーを押す

ステーション メンテ
メンテ : ノズル センジョウ

- キャリッジが中央へ移動し、Yバーが手前に移動します。

5

PR-200 搭載ヘッドを「洗浄する」に設定し、**ENTER** キーを押す

ステーション メンテ
ヘッド [_ 3 _]

(1) **◀▶**でヘッドを選ぶ

(2) **▲▼**を押して、洗浄する(ヘッド番号を表示)/しない("_"を表示)を選ぶ

重要!

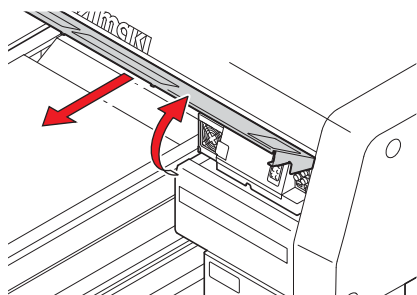
- 洗浄するヘッドのみ選択してください（上の画面は、3番ヘッドにPR-200を搭載している場合）。

6

フロントカバーを取り外す

- (1) フロントカバーの両端を押します。
- (2) 上に開きながら、カバーを手前に外します。

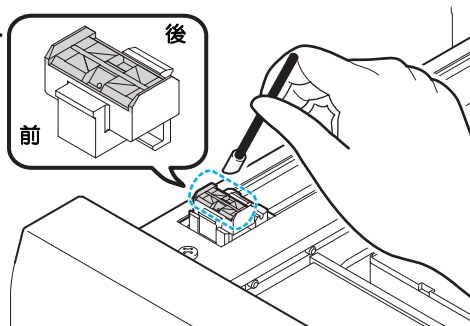
- ワイパが手前に移動します。



7

清掃棒に F-200/LF-200 メンテナンス洗淨液を付けて、ワイパノズルを洗淨する

- 図の部分を拭いてください。

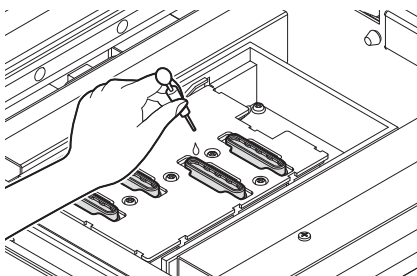


重要!

- ワイパノズルの洗淨には、必ず F-200/LF-200 メンテナンス洗淨液を使い、PR-200 メンテナンス洗淨液を使用しないでください。

8

スポイトでPR-200メンテナンス洗淨液を取り、PR-200 搭載ヘッドのキャップにのみ、いっぱい満たす



重要!

- ノズル詰まりの原因となるため、PR-200 搭載ヘッドのキャップ以外に PR-200 メンテナンス洗淨液を使用しないでください。

9

フロントカバーを取り付けて **ENTER** キーを押す

- キャッピングを行います。

センシ ョウエキ ヲ ミタス
シュウリョウ : ent

10

▲▼を押して放置時間を設定し、ENTER キーを押す

ステーション メンテ
ホウチ シ`カン : 1min

- ノズル洗浄が開始されます。
- 設定値 : 1 min

重要!

- PR-200 メンテナンス洗浄液を使用している場合、放置時間は変更しないでください。

11

ローカルに戻り、PR-200 搭載
ヘッドのヘッドクリーニング
(ハード) を 1 回実施する

クリーニング`
ヘッド` [_ _ _ _ C^P L_R _ _]



- 取扱説明書「ヘッドクリーニングを実行する」を参照して操作してください。

クリーニング`
タイプ: ハート`

12

テスト作図を行い、作図結果を
確認する

テストサクス`
(SCANホウコウ) <ENT>

重要!

- 取扱説明書「テスト作図をする」を参照して操作してください。
- ノズル抜けが見られる場合は、もう一度ノズルクリーニング（ハード）を実行し、ノズルの状態を確認してください。
- ノズル抜けが解消されない場合は、この洗浄を 3 回まで繰り返してください。3 回繰り返しても改善しない場合は、販売店、または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

画質不良が解消されない場合は

次のような場合、洗浄キットを使って吸引ノズルのクリーニングをしてください。

- ・ステーション内部の汚れがひどい場合
- ・ヘッドのクリーニング機能（☞ P.4）を実行しても画質不良が解消されない場合

洗浄キットの内容	・F-200/LF-200 メンテナンス洗浄液（SPC-0568）		
	・手袋	・清掃棒（SPC-0384）	・保護メガネ



- ・清掃をする場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

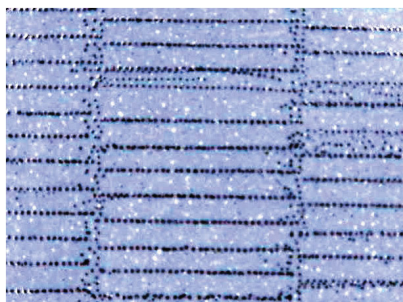


- ・クリーニングするとき、アルコール、水等は使用しないでください。
- ・汚れ、曲がりなどがひどい場合は、新しい吸引ノズルと交換する必要があります。販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
- ・専用の清掃棒をお求めの場合は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

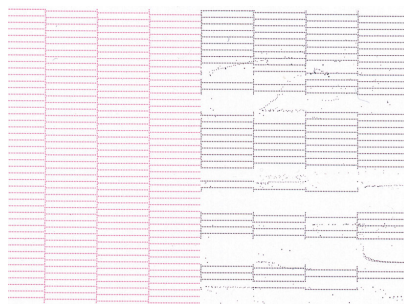
作図不良の例

ホコリなどを原因として発生する、ヘッドの吐出不良が作図に及ぼす代表的な例を示します。このような状態でご使用にならないように、出力前や出力中に定期的にノズルの状態を確認されることをお勧めします。ノズルの状態は、本機の「テスト作図」で確認することができます。（☞ 取扱説明書）

飛行曲がり



ノズル抜け



ボタ落ち



しぶき



ワイパのクリーニング

ワイパは、ヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取ります。
本機を使用しているとインクやホコリ等でワイパが汚れてきます。
ヘッドの状態を良好に保つために、ワイパは頻繁に清掃してください。



- 清掃をする場合は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。



- ワイパを清掃してもノズル抜けやボタ落ちが解消しない場合、ワイパ交換をお試しください。

作業に必要なもの	• UJ 清掃棒 (SPC-0386)	• 手袋	• 保護メガネ
	• F-200/LF-200 メンテナンス洗浄液 (SPC-0568)		

1

ローカルモードで、**FUNCTION** キーを押す

<ローカル>

2

▲▼を押して[メンテナンス]を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT>

3

▲▼を押して[ステーションメンテ]を選び、**ENTER** キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテ

<ent>

4

▲▼を押して[メンテ:ワイパセイスウ]を選び、**ENTER** キーを押す

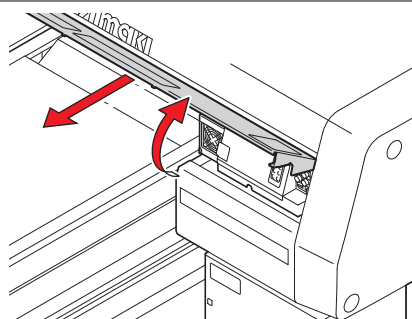
ステーション メンテ
メンテ :ワイパ セイスウ

- キャリッジが中央へ移動します。
- ワイパが手前に移動します。

5

フロントカバーを取り外す

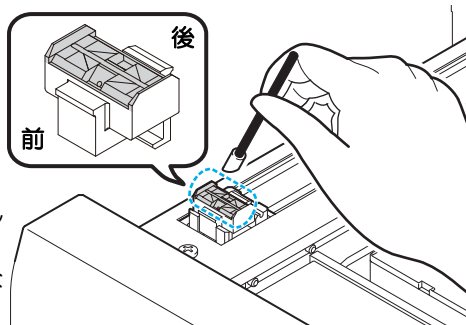
- (1) フロントカバーの両端を押します。
- (2) 上に開きながら、カバーを手前に外します。



6

清掃棒に洗浄液をしみこませ、ワイパーノズルの汚れを拭き取る

- 図の部分を拭いてください。
- ワイパの汚れがひどい場合は、ノズル（SPA-174）を交換してください。ノズルの取り付け時、前後を間違えないようにしてください。



7

清掃が終了したら、フロントカバーを取り付けて **ENTER** キーを押す

- 初期動作を実行します。

ステーション メンテ
シュウリョウ

: ent

8

END キーを押して終了する

ノズル吐出不良の回復方法

本機を長時間ご使用にならなかった場合や、環境温度によってはノズルの吐出が安定しなくなることがあります。この場合、ノズルを回復させるために以下の方法があります。



- これらの方法を行ってもノズル吐出が回復しない場合には、弊社サービスまたはお買い上げの代理店にご連絡いただき、ヘッド交換等の処置が必要になります。

1

日常のお手入れを行う

- 本文に記載されている、各所のお手入れを行ってください。

2

ヘッドのクリーニングをする（☞ P.4）

- クリーニングとテスト作図を繰り返し、ノズル抜けが無くなることを確認します。

3

ノズル洗浄を行う（☞ P.5）



- これまでの操作でノズル詰まりが回復しない場合には、弊社または本機をお買い上げいただいた販売店にサービスコールをしてください。

廃インクが溜まったら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、廃インクタンクとワイパボトルに溜まります。定期的に廃インクタンクとワイパボトルをチェックして、インクが溜まっていたら処分してください。

また、「! ハイインクタンク チェック」や「ワイパボトル チェック」のワーニングメッセージが表示された場合も、廃インクタンクとワイパボトルをチェックしてください。



- 予備の廃インクタンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。



- ヘッドクリーニング中などインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。
- 廃インクタンクを取り扱うときは、廃インクがこぼれないようご注意ください。
- 廃インクタンクの液量はこまめにご確認ください。廃インクを廃棄せずに本機を使用し続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。

作業に必要なもの

• 手袋

• 保護メガネ

廃インクタンクのインクを処分する

1

電源を入れる

- 初期動作後、<ローカル> が表示されます。

2

ローカルモードで、**FUNCTION** キーを押す

<ローカル>

3

▲▼を押して[メンテナンス]を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT>

4

▲▼を押して[ステーションメンテ]を選び、**ENTER** キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテ

<ent>

5

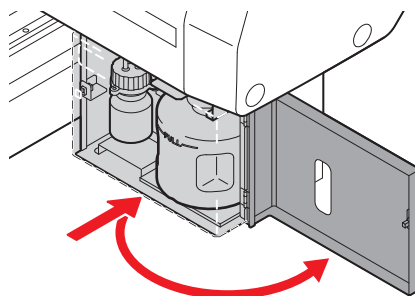
▲▼を押して[メンテ：ハイインクタンク]を選び、**ENTER** キーを押す

ステーション メンテ
メンテ :ハイインクタンク

6

廃インクボックスカバーを開ける

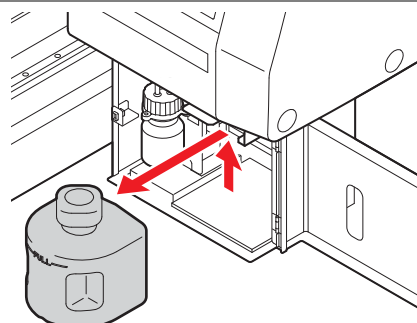
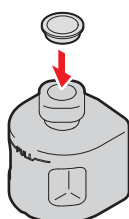
- カバーを軽く押すと、手前にカバーが開きます。



7

廃インクタンクを取り出す

- タンクを少し上に持ち上げながら、手前に取り出します。
- 取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。

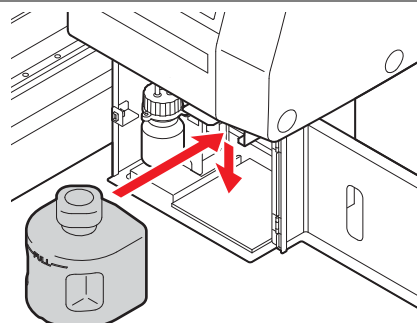


8

廃インクタンクをセットする

- (1) 新しい廃インクタンク (品番 :SPA-0173) を用意します。
- (2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、廃インクタンクボックスの中にセットします。
- (3) 廃インクボックスカバーを閉めます。

- 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。



9

ENTER キーを押す

ステーション メンテ
シュウリョウ

: ent

10

END キーを押して終了する

ワイパボットのインクを処分する

1

電源を入れる

- 初期動作後、＜ローカル＞が表示されます。

2

ローカルモードで、
[FUNCTION] キーを押す

＜ローカル＞

3

[▲][▼]を押して[メンテナンス]
]を選び、[ENTER] キーを押す

FUNCTION
メンテナンス

＜ENT＞

4

[▲][▼]を押して[ステーションメンテ]
]を選び、[ENTER] キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテ

＜ent＞

5

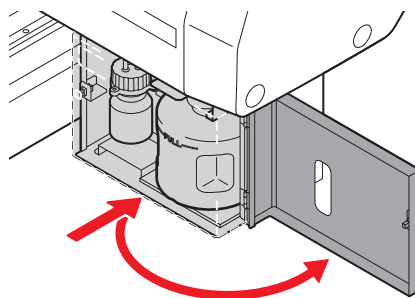
[▲][▼]を押して[メンテ：ワイパボット]
]を選び、キーを押す

ステーション メンテ
メンテ :ワイパ ボトル

6

廃インクボックスカバーを開ける

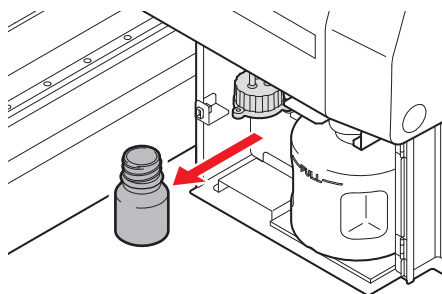
- カバーを軽く押すと、手前にカバーが開きます。



7

ワイパボトルを外し、 廃インクを廃棄する

- ふたを持ってボトルを回し、ボトルを取り出します。
中のインクを処分してください。
- 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。



8

ワイパボトルを戻す

- (1) ふたを持ってボトルを回し、ふたを閉めます。
- (2) 廃インクボックスカバーを閉めます。

9

ENTER キーを押す

ステーション メンテ
シュウリョウ

: ent

10

END キーを押して終了する

作図中のインク滴のボタ落ちを防ぐ

キャリッジ下面には、作図中のミストによるインク滴が発生することがあります。インク滴が垂れるとメディアが汚れたり、かすれや抜けの原因となりますので、頻繁にキャリッジ下面を清掃してください。

作業に必要なもの	• UJ 清掃棒 (SPC-0386) • 手袋	• 保護メガネ
	• F-200/LF-200 メンテナンス洗浄液 (SPC-0568)	

1

電源を入れる

- 初期動作後、<ローカル> が表示されます。

2

ローカルモードで、 (FUNCTION) キーを押す

<ローカル>

3

(▲) (▼) を押して [メンテナンス] を選び、(ENTER) キーを押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT>

4

(▲) (▼) を押して [ステーションメンテ] を選び、(ENTER) キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテ

<ent>

5

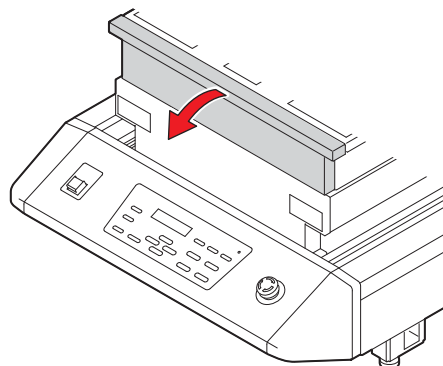
(▲) (▼) を押して [ヘッドメンテ] を選び、(ENTER) キーを押す

ステーション メンテ
メンテ :ヘッド* メンテ

- キャリッジが前端中央に移動し、Yバーが手前に移動します。

6

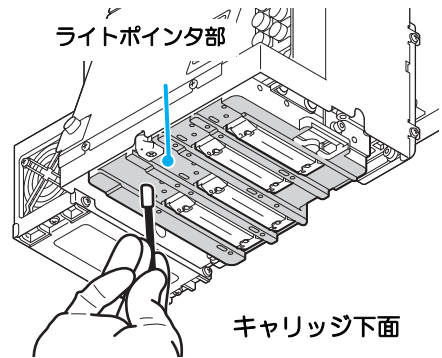
テーブル正面カバーを開ける



7

清掃棒に洗浄液をしみこませ、ヘッドの側面を清掃する

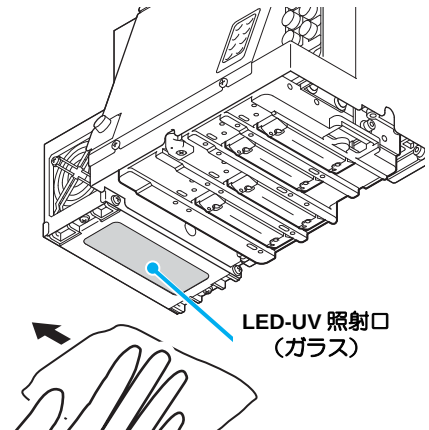
- ヘッドのノズル面は拭かないでください。ノズル詰まりの原因となります。
- 専用の清掃棒をお求めの際は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。



- ライトポイント部に洗浄液が付かないようご注意ください。

8

テクノワイプ（付属品）にアルコール液をしみこませ、LED-UV 照射口を清掃する



9

清掃が終了したら、テーブル正面カバーを閉じて、**ENTER** キーを押す

- 初期動作を実行します。

ステーション メンテ
シユウリョウ

:ent

保管方法について

不凍液・メンテナンス用洗浄液の保管

不凍液、メンテナンス用洗浄液は、冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。

メディアの保管

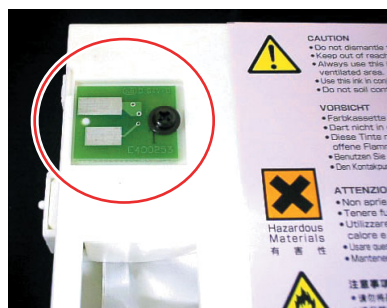
メディアは、ほこりがつきにくく直射日光が当たらない場所に保管することをお勧めします。また湿度も嫌いますので高温多湿な場所での保管は避けてください。

インクカートリッジの保管

直射日光があたりず、湿度の高くない場所に保管してください。

精細な製品ですから、落下させたりぶつけたりしないでください。

インクカートリッジに装着されている基板（右写真）は、汚したり、静電気放電させたりしないでください。





日常のお手入れマニュアルの最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。